

テーマ：防災意識の高揚 対象：小学生・保護者 主催：広島市佐東公民館

6-③親子で学ぶ防災講座

地域を学ぶ	○	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開（令和2年度）

日程	場所	学習・活動内容
8月30日（日） 10:00～12:00	佐東公民館 ホール	①避難所体験～段ボールベッドを作ってみよう！～ ・講話「防災について」 ・段ボールベッド作り ・アンケート、まとめ
9月13日（日） 10:00～12:00		②災害が起きた時を考えてみよう！ ・行動間違いさがし ・親子の約束ごと作り ・アンケート、まとめ
10月18日（日） 10:00～13:00	佐東公民館 緑井第八公園	③防災炊き出し訓練～カレーライスを作ろう！～ ・カレーライス作り ・防災食の試食 ・アンケート、まとめ

「梅林学区地域防災リーダーの会」と講座実施までに行った連携・協議の内容（場所：佐東公民館）

日程	活動内容
6月 7日（日） 10:30～12:00	・講座内容の検討
7月 3日（金） 13:30～15:30	・講座内容の検討 ・公民館だよりへの掲載内容の検討 ・第1回講座のプログラムの検討
8月24日（月） 13:00～15:00	・第1回講座の流れ及び準備物の確認 ・第2回講座のプログラム、使用教材等の検討 ・第3回講座のプログラムの検討
8月28日（金） 18:00～19:00	・第1回講座の段ボールベッド組み立て方の確認、説明方法等の検討
9月12日（土） 13:00～16:00	・第2回講座のプログラム、使用教材等の検討、 ・講座の流れ及び準備物の確認
9月25日（日） 18:00～19:00	・ロケットストーブの試験
10月 7日（水） 13:30～15:00	・第3回講座の流れ及び準備物等の確認
10月14日（水） 13:30～15:00	・第3回講座の流れ及び準備物等の確認 ・買い出し物品の確認
10月17日（土） 13:00～16:00	・カレーライス食材等の買い出し ・公用車へ物品の積み込み

※梅林学区地域防災リーダーの会のメンバーは、安佐南区が主催した「地域防災リーダーカレッジ」を受講・修了した方であり、防災士の有資格者も含まれる。

※プログラム内容の検討には公民館職員をはじめ、多数の梅林学区地域防災リーダーの会のメンバーが関わった。



対象	小学生・保護者
経費	「身近な防災・減災講習会」開催用講師謝礼金(安佐南区役所地域起こし推進課) ①②無料 ③参加費500円（1名あたり）
連携先	安佐南区役所地域起こし推進課、梅林学区地域防災リーダーの会

問合せ先

広島市佐東公民館
〒731-0103 広島市安佐南区緑井六丁目29番25号
電話：082-877-5200 ファクシミリ：082-877-5200

2 講座設定の理由（学習の目的）

○平成 26 年の豪雨災害から災害に関する講座等を毎年企画してきたが、子育て世帯が多い地域でもあるため、防災に関する体験活動を通して、家庭における防災力の向上を目指す。

3 学習目標

○防災についての知識を深めたり、必要物品の備え等について知ったりする。
○防災について、体験活動を通して親子で話し合うなど、日頃から災害に対する準備を行う意識を高める。

4 事前に必要な知識や準備物

○アルファ化米、段ボールベッド等の防災物品を備蓄している行政機関を把握し、提供してもらうための連絡・調整
○公園において火を扱うため、行政機関への諸届けの申請
○公園を使用する際、回覧板等を活用し、近隣住民に活動内容を周知
○梅林学区地域防災リーダーの会と講座当日の運営について連携
○ロケットストーブの借用
○公用車（バン）の借用

5 留意点

○効果的な体験活動が行えるように、対象である小学生の視点で活動内容を組み立てる。
○室内で活動する際には、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行う。
○事前に活動中に気を付けることや公園の使い方等について説明し、安全管理を行う。

6 成果

○「日頃から災害について家族と話し合おうと思う」等の意見があり、防災に対する意識の変容を見ることができた。
○「今回体験したことを子供会等の行事で実施したい」等の意見があり、参加者が学んだことを次の活動に生かそうとする意欲へ繋げることができた。
○梅林学区地域防災リーダーの会の方も講座へ参画することにより、他者へ伝える方法等について学ぶことができた。

7 課題

○今後も定期的に防災教室を行う予定にしているため、多くの方に参加してもらえるような広報活動について検討する必要がある。
○室内での講義形式のみのプログラム構成では効果的な活動を仕組むことが難しい。

8 今後に向けて

○防災に関する多様なプログラムを立案できるように、他施設への見学を行うなど関係機関と連携・調整を行う。
○防災に関する大規模イベントを計画するなど、当講座の参加者が学んだことを生かし、その成果を発揮できる場を設定する。